

【報告事項2】

札幌市地域公共交通計画に関する 取組について

2026年(令和8年)7月28日

札幌市地域公共交通計画について

- ・協議会での議論を踏まえ、2024年11月に策定

札幌市の公共交通の課題

課題①

需要に応じた移動手段の確保

課題②

運転手不足への対応

課題③

収入の確保

課題④

利用者の利便性向上

目指すべき将来像

市民・事業者・行政の協働でつくる、
まちと暮らしを支える持続可能な公共交通ネットワーク

基本方針

① まちと暮らしを支える公共交通ネットワークの構築

多様化する需要や運転手不足に対応し、公共交通サービスを確保していくため、地域の実情を踏まえ、各公共交通機関が連携し、バス路線再編や代替交通の導入等も行いながら、まちと暮らしを支える公共交通ネットワークの構築を進めます。

② 持続可能で安定した運営体制の確立

公共交通を将来にわたって持続可能なものとするため、市民・事業者・行政のそれぞれが収入確保や運転手不足への対応に向けて必要な役割を分担し、安定した運営体制の確立を目指します。

③ 利用環境の向上等による利用促進

公共交通の維持や環境への配慮の観点から、車両・施設・サービス等の利便性を向上するとともに、公共交通の利用に関する意識醸成を図ることで、利用を促進します。

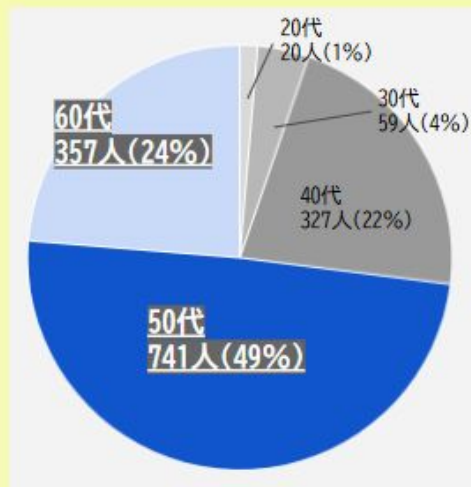
札幌市地域公共交通計画について

基本方針	施策	取組内容
【基本方針1】 まちと暮らしを支える公共交通ネットワークの構築	1-1 生活交通の確保に向けた公共交通ネットワークの再編	1) 面的なネットワークの維持 2) バス路線再編による運行効率化 3) 地域特性に応じた代替交通の導入 4) 地域と取り組む移動手段の確保 5) 小型車両・デマンド交通等への転換 6) 連節バスの導入検討 7) バスーバス乗継割引の導入検討
	1-2 交通結節点等を介した交通モード間の連携	8) 交通結節点等の機能強化
【基本方針2】 持続可能で安定した運営体制の確立	2-1 持続可能な事業運営に向けた取組	9) 持続可能な運営に向けた収支改善 10) 運転手確保に向けた取組 11) 事業者間での協働による取組の検討
	2-2 新技術等の活用の検討	12) 新たな決済手段の活用検討 13) 新たな公共交通システムの導入検討 14) 自動運転に関する検討
【基本方針3】 利用環境の向上等による利用促進	3-1 わかりやすい運行情報の提供	15) 運行情報発信体制の充実
	3-2 待合環境・走行環境等の向上	16) 待合環境の向上 17) バスターミナル機能の維持 18) 路面電車の活用及び機能向上
	3-3 バリアフリー化や脱炭素化の推進	19) バリアフリー化された車両の導入 20) 旅客施設のバリアフリー化 21) 脱炭素につながる次世代自動車の導入検討
	3-4 公共交通の利用促進に向けた取組の推進	22) 小学生への公共交通に関する学習の実施
		23) 企画券等による需要喚起

札幌市内における路線バスの現状と課題

- ・深刻な運転手不足により、路線バスの減便や廃止が発生
- ・運転手の高齢化による担い手確保が課題

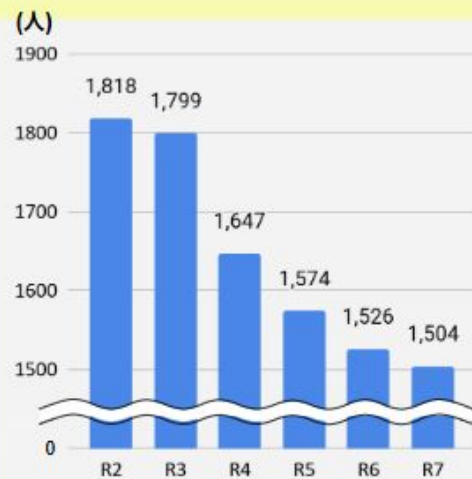
運転手の高齢化



7割が
50代以上
(R7時点)

※札幌市内の路線バス事業者への調査結果（令和7年度末時点）
（中央バス、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつ 3社合計）

運転手の減少



5年で
314人（17%）
運転手減少

※札幌市内の路線バス事業者への調査結果（各年度末時点）
（中央バス、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつ 3社合計）

運行便数の減少



5年で
2,040便（23%）
ダイヤ減少

※市内完結路線の便数（各年度12月時点）
（出典）札幌の都市交通データブック

札幌市令和8年度予算について

・「生活交通確保対策パッケージ」として、路線バスに関係する施策を4つの柱で総合的に推進

●面的な公共交通ネットワークの維持

施策1 バス事業者の経営基盤の下支え 1,680,005千円
(R7: 1,584,830千円)

(継続) 路線維持補助(1,680,005千円)

施策2 設備更新への支援 1,508,915千円
(R7: 1,044,378千円)

(継続) ICカード車載器更新補助(1,508,915千円)

施策3 路線廃止に伴う代替交通の導入 60,287千円
(R7: 62,026千円)

(継続) 手稲区デマンド交通運行(11,609千円)

(継続) 代替交通運行(栄町篠路、空沼)(48,678千円)

●市民・企業・行政の協働関係の構築

施策8 地域と連携した交通手段の導入 23,772千円
(R7: 16,627千円)

(継続) 地域交通支援助成金(厚別ふれあい循環バス)(11,886千円)

(新規) 地域交通支援助成金(新規1地域)(11,886千円)

施策9 公共交通の利用促進等に関する啓発活動 3,105千円
(R7: 6,105千円)

(継続) モビリティ・マネジメント教育の実施(3,105千円)

施策10 関係者との議論・連携の推進 8,935千円
(R7: 9,117千円)

(継続) 札幌市公共交通協議会を通じた公共交通ネットワークや
地域公共交通計画に関する議論(8,935千円)

●路線バス運転手確保に向けた仕組みづくり

施策4 運転手の待遇改善等への支援 294,400千円
(R7: 207,114千円)

(継続) 運転手人件費アップに対する支援(292,400千円)

(継続) 運転手の労働環境改善に資する設備投資への補助(2,000千円)

施策5 運転手の新規採用に関する補助制度 13,300千円
(R7: 36,500千円)

(継続) 大型二種免許取得への補助(12,500千円)

(継続) 就労一時金、移住支援への補助(800千円)

施策6 バス事業者の採用活動への支援 2,000千円
(R7: 10,000千円)

(継続) 市とバス事業者が連携した業界PRや採用活動の
実施(2,000千円)

施策7 外国人バス運転手の養成支援 13,424千円
(R7: 9,000千円)

(継続) 令和7年度開始モデル事業(国内養成)の継続(6,759千円)

(新規) 現地養成による外国人材の採用・定着支援(6,665千円)

●新たな技術や知見の積極的な活用

施策11 持続可能な公共交通ネットワークに関する検討 27,241千円
(R7: 8,303千円)

(レベ) 将来的な行政や事業者との協働による取組や持続可能な運賃体
系の調査・検討(22,241千円)

(新規) 生活交通における自動運転バスの実証運行へ向けた検討・
社会受容性等の調査(5,000千円)

施策12 公共交通案内表示等の多言語化対応支援 6,800千円
(R7: -)

(新規) 市内バスターミナル等における多言語化対応の行先表示
板や窓口への翻訳機の設置(6,800千円 宿泊税)

(参考)
予算額の推移

R6: 19.6億
R7: 29.6億



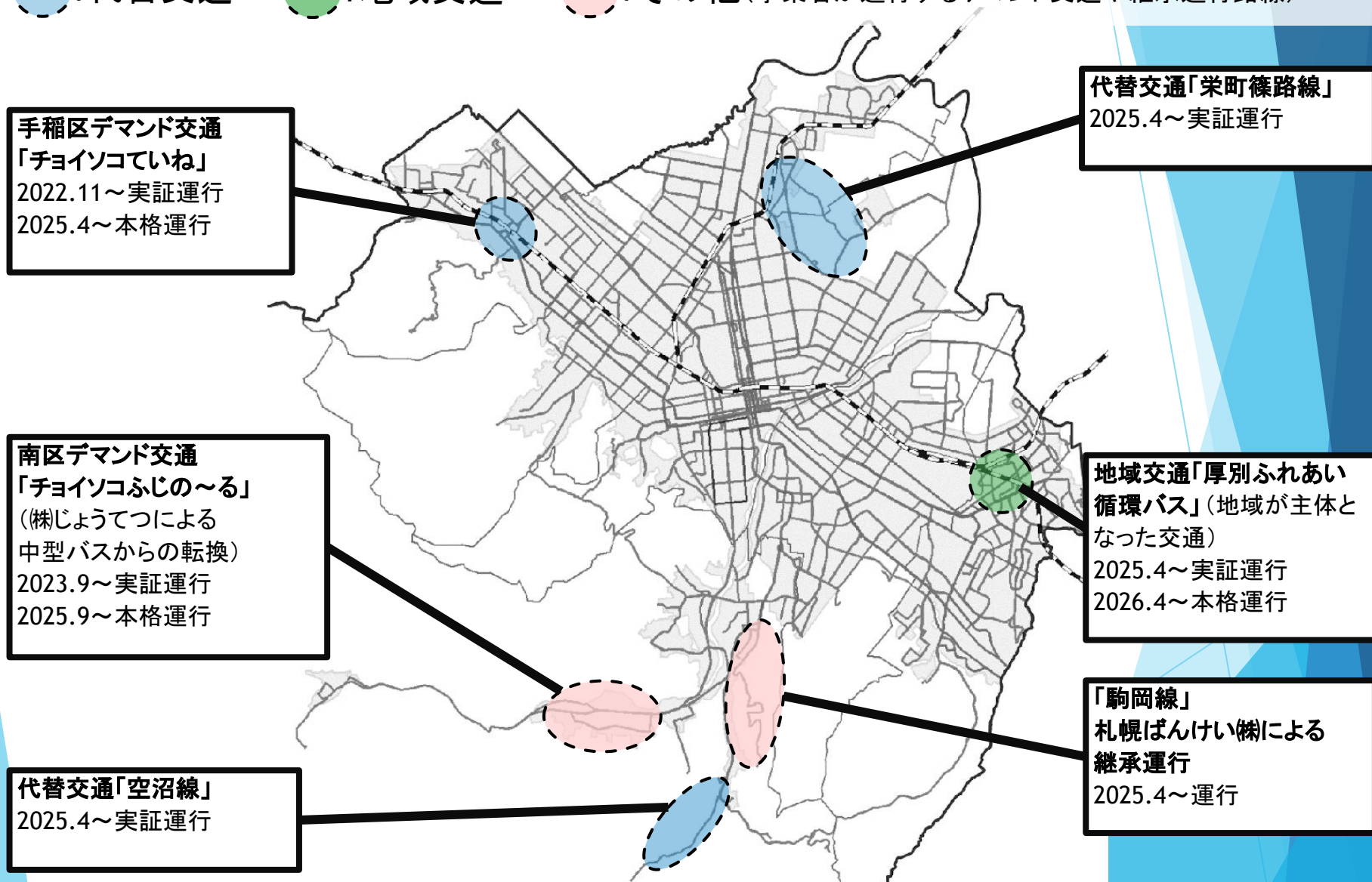
R8: 36.4 億
うち継続 35.9億
新規・レベ 0.5億

地域公共交通計画に関する 取組状況(概要)

現在運行中の代替交通など

基本方針1 施策1-1関連

●: 代替交通 ●: 地域交通 ●: その他(事業者が運行するデマンド交通や継承運行路線)



- ・代替交通などの導入にあたっては、地域住民との協議も踏まえた上で、地域特性や需要に応じた交通手段を導入
- ・運行開始後も、利用状況等を踏まえ運行内容を見直し

分 類	主 体	運行概要	車 両
デマンド交通 (チョイソコていね)	市	区域運行／予約制	ジャンボタクシー
デマンド交通 (チョイソコふじの～る)	事業者 (じょうてつ)	区域運行／予約制	ジャンボタクシー
代替交通 (栄町篠路線)	市	決まった経路を運行 一部予約制	ジャンボタクシー
代替交通 (空沼線)	市	決まった経路を運行 主に予約制	ジャンボタクシー セダン型タクシー
継承運行 (駒岡線)	事業者 (札幌ばんけい)	路線定期運行	大型バス
地域交通 (厚別ふれあい循環バス)	地域組織	路線定期運行	大型バス

- ・連節バスの運転手育成に向けて車両運転技術研修を実施。
市内バス事業者の運転手を派遣。
- ・新たな公共交通システムの冬季テスト走行において、
都心部及び郊外部のバス路線の試験走行を実施。

連節車両運転技術研修

目的 連節バスの車両特性を踏まえた運転技術を習得するため。

期間 令和7年7月14日(月)～8月7日(木)

概要 福岡県の西鉄バス研修センターに2名のバス運転手を派遣。それぞれ10日間の研修プログラムを受講した。



【西鉄バス研修センターでの研修の様子】

新たな公共交通システム冬季テスト走行

目的 積雪寒冷地における連節バスの走行性能等を検証するため。

期間 令和8年1月24日(土)～1月30日(金)

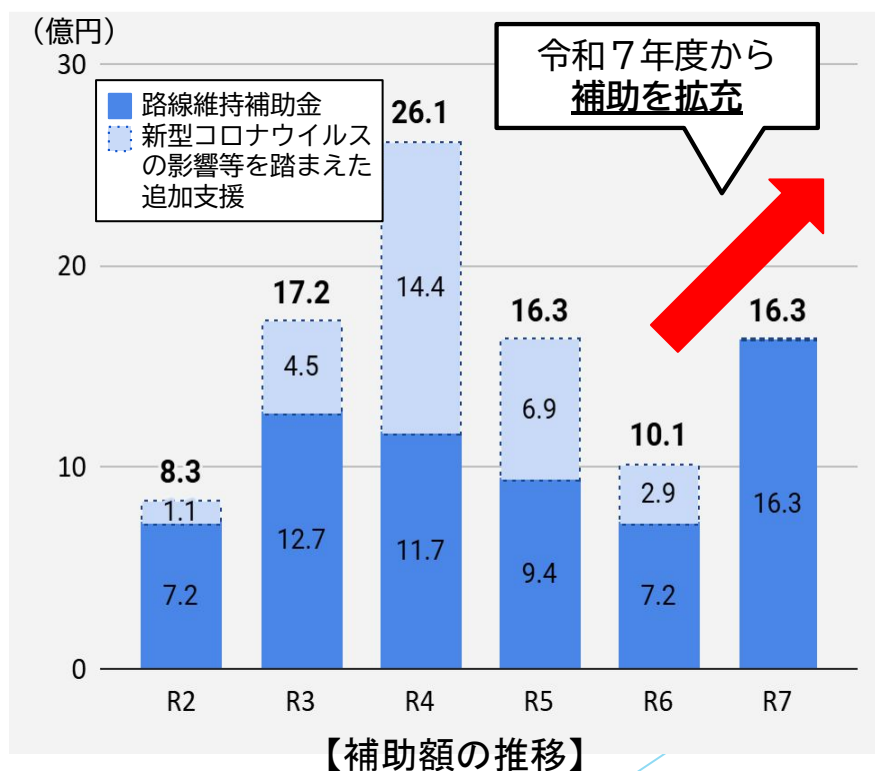
概要 都心部・郊外部の公道にて夜間テスト走行を実施。冬季の道路環境下においても走行可能であることを確認した。



【冬季テスト走行の様子(赤レンガテラス前)】

- ・バス路線維持のため、赤字路線に対する経費補助を実施
- ・令和7年度からは、補助制度を大幅に拡大※し、事業者への支援を強化（**令和7年度補助額:16.3億円**）

※旧市営バスから引き継いだ路線とそれ以外の路線とで、補助額に差が出ていたため、この制度差を解消するほか、より多くの路線が補助を受けられるよう、補助対象要件を拡大した。



- ・新規採用に向け就職説明会を開催したほか、各種イベントに出展し職業の魅力を紹介

【就職説明会一例】

開催日	名称	主催等	内容
R7.11.29	自衛官向け運転体験会・合同就職説明会	北海道運輸局札幌運輸支局、自衛隊札幌地方協力本部	退職を迎える自衛官を対象としたバス・タクシー・トラック運転体験会・合同就職説明会
R8.2.14	バスドライバー就活フェア	北海道バス協会	バス運転手の確保に向けた就職活動イベント
R8.3.7	ドライバー就職フェア	北海道、北海道運輸局	運輸業界（バス・タクシー・トラック）の就職相談会

【バス事業者によるイベント出展一例】

開催日	名称（主催）	内容
R7. 10.4-5	ミニさっぽろ2025 （ミニさっぽろ2025実行委員会）	ミニさっぽろバスとして出展し、来場した子どもたちにバス運行業務を体験してもらい、職業の魅力をPR
R7.9.27 R7.10.18	北海道さっぽろ圏移住フェア （北海道移住交流促進協議会）	さっぽろ圏への移住相談会においてバス運転手の仕事を紹介
R7.10.31- 11.1	さっぽろシゴト博 （札幌市）	バス運転席への試乗など体験を伴うイベントへの出展により、潜在若年層から保護者世代まで幅広い層に対し、バス運転手という職業の認知・魅力をPR

- ・路線バス運転手の職業としての魅力発信やバス事業者における採用活動の取組を支援
- ・令和7年度は、移住イベントへのブース出展・移住体験モニターツアー・SNS広告・業界セミナー・中学校への出前講座など、様々な取組を実施



【移住イベント出展の様子】



【移住体験モニターツアー・パンフレット】



【中学校への出前講座の様子】

■モデル事業（事業期間：R7.4～R9.3）受入数：3名

外国人運転手確保・育成の仕組みづくりと共にノウハウの蓄積を目指すことを目的に開始したモデル事業を令和7年度から継続。

ミャンマー人留学生3名を対象として、(株)じょうてつでアルバイト雇用をしながら、将来的なバス運転手としての雇用を見据えた支援を実施。

《事業スケジュール》

R7：外免切替（AT限定で取得済み）

R8：限定解除（実施済み）、大型二種免許受験、特定技能評価試験受験、日本語能力試験（N3）受験

R9：新任運転者研修（※モデル事業終了後に(株)じょうてつにおいて実施）



接遇セミナー受講の様子

■現地養成支援事業（事業期間：R8.4～R10.10） 受入数：10名

札幌市による業務委託にて、ベトナムで募集した人材に対し、母国での養成から日本入国後の運転免許取得、受入れ先バス事業者※での運転業務開始に向けた研修等を一体的に支援。

現地養成から就業開始までの一体的な支援は、**自治体が主体の取組としては全国初**の試み。

※ジェイ・アール北海道バス(株)、(株)じょうてつ、北海道中央バス(株)

《事業スケジュール》

人材募集：～R8.7、現地養成：R8.7～R9.10(予定)、国内養成：R9.11～R10.10(予定)

《事業の特徴》

○手厚いサポート

法令基準を上回るサポート（面談の増回、日本語会話講座の実施、外国人材間交流イベントなど）を人材と事業者双方に提供し、人材の定着、日本語会話力の向上を図るほか、市民との相互理解を進める取組も実施。

○徹底した運転教育

入国前：ベトナム現地で「日本式実車教育」を含む、運転教育を実施。

入国後：外免切替ではなく、日本の教習所で合宿免許により「普通一種」と「大型二種」を取得。



ベトナムでの運転教育の様子（テトラ・シフト提供）

新たな決済手段の導入

基本方針2 施策2-2関連

- ・市営地下鉄におけるクレジットカード等のタッチ決済による「クレカ乗車」サービスに係る実証実験について、2026年3月26日(木)から、1日上限運賃サービスを開始
- ・利用者数は、右肩上がりに増加しており、今年5月には1日あたり16,000人程度が利用(前年同月の約5倍)
- ・札幌市電においても、2026年4月27日(月)から「クレカ乗車」サービス(+1日上限運賃サービス)を開始



【札幌市電の決済用端末】

札幌市営地下鉄・札幌市電(路面電車)は
クレカ乗車)))なら **どれだけ乗っても**
1日上限運賃が自動適用!

※スマホでもカードでも / このマークが目印!

Subway Daily fare capping of 830yen applies on weekdays, 520yen on weekends, national holidays and New Year holiday period (Dec.29th-Jan.3rd).

Streetcar Daily fare capping of 460yen applies only on weekends, national holidays, and New Year holiday period (Dec.29th-Jan.3rd).

札幌市営地下鉄		札幌市電(路面電車)
平日 1日乗車券と同額	土日祝・年末年始 ドニチカキップと同額	土日祝・年末年始のみ 札幌市電クレカ乗車ホリデー割
1日最大 830円 まで	1日最大 520円 まで	1日最大 460円 まで

⚠️ 札幌市電は土日祝・年末年始のみ上限運賃対応!

※札幌市営地下鉄と札幌市電の上限運賃は別々に適用されます。 ※年末年始:12/29~1/3 ※乗り継ぎ運賃は適用されません。 ※カード番号が同じでも、暗号(プラスチックカード/スマートフォン/スマートウォッチ等)が異なる場合は、1日の乗車運賃として合算されません。 ※札幌市電で複数人のご利用を1枚のカードでお支払いになる場合は、大人1名分のみが上限運賃の対象となります(他の同行者は通常運賃のお支払いとなります)

あなたのスマホやカードでタッチするだけ! VISA Mastercard JCB AMEX Diners Club INTERAC DISCOVER NETWORK UnionPay 銀聯

【上限運賃サービスのPRポスター】

待合環境の向上について

基本方針3 施策3-2関連

■バス待合所としてコンビニの活用（R7年度実施）

- ・バスが到着するまでの待ち時間を快適に過ごしていただくため、札幌運輸支局と共同で、バス停近くのコンビニエンスストアを「バス待合所」として利用する取組を実施
- ・市内22箇所の店舗で実施中（令和7年12月1日時点）

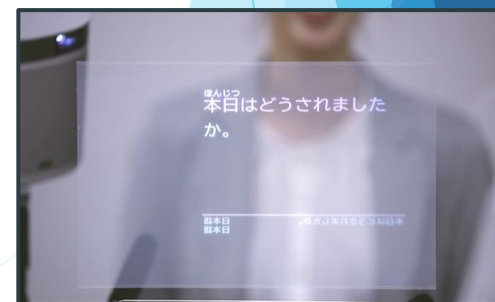


【実施店舗で掲出しているステッカー】

■公共交通案内表示等の多言語化対応支援（R8年度実施予定）

- ・窓口における翻訳機設置やバス停等における多言語化対応の行先表示板の設置を行う交通事業者に対し補助を行う

※本事業は宿泊税を活用した取組



【窓口への設置を想定している翻訳機のイメージ】

低床車両の導入(路面電車)

基本方針3 施策3-3関連

- ・バリアフリーの低床車両(ポラリスⅡ)を継続して1両導入
- ・「乗り降りしやすい小さな段差」
地面から床面までの高さが従来の車両よりも50cm低く、
高齢者をはじめ多くの方が乗り降りしやすい乗降口を設置
- ・「街並みに溶け込む、洗練されたデザイン」
白と黒を基調とした外観で、札幌の都市の先進性や、
爽やかな気候風土などをイメージ



【ポラリスⅡ A1210形】



【バリアフリー対応の乗降口】

旅客施設のバリアフリー化

基本方針3 施策3-3関連

- ・「札幌市バリアフリー基本構想 2022」に基づき、
旅客施設のバリアフリー化を推進
- ・令和7年度は、地下鉄駅における「エレベーター設置」
「案内標識の多言語化」「案内表示器のCUD(カラー
ユニバーサルデザイン)化」などを実施



【エレベーター設置
(新さっぽろ駅)】



【案内標識の多言語化
(中の島駅)】



【案内表示器のCUD化
(大谷地駅)】

水素燃料電池タクシー運行実証

基本方針3 施策3-3関連

- ・一般社団法人札幌ハイヤー協会と水素エネルギーの利用促進に関する連携協定を締結し、積雪寒冷地における冬季の運行データ取得と市民等へ水素エネルギーを広くPRすることを目的とした水素燃料電池（FC）タクシーの運行実証を委託
（事業期間：令和11年1月30日まで）
- ・実証を行うFCタクシー3台には、札幌市立大学の学生がデザインした札幌市水素エネルギーコアモチーフ「ツツとユユ」のラッピングを施し、イベント参加等を通じて札幌市の水素の取組のPRにも貢献している



【水素ステーションとFCタクシー】



【雪まつりにおける展示協力】



【チカホで行なわれたラッピングデザインお披露目会の様子】

■第5回道央都市圏パーソントリップ調査

- ・道央都市圏を対象に「どのような人が」「いつ」「どこへ」「何をつかって」移動したか、移動先で「何をしたか」等、**地域の人の移動や活動を把握する調査** を令和7年度に実施
- ・令和8～10年度に現況分析や需要予測を行った上で都市交通の在り方を提案。**将来の交通やまちづくりに活用**

R 7
実態調査

R 8
現況分析

R 9
将来需要予測

R 10
都市交通の
在り方提案

■持続可能な公共交通の在り方検討

- ・運転手不足による路線バスの減便や廃止など、**公共交通を取り巻く環境が大きく変化** していることを踏まえ、令和8年度に**全市的な公共交通体系の現状と課題を整理** し、**将来にわたって持続可能な公共交通の在り方について段階的に検討**
- ・検討にあたってはパーソントリップ調査の調査結果も活用

札幌市地域公共交通計画評価指標の達成状況

No.	評価指標	計画策定時 2022(令和4)年度	現状値 2025(令和7)年度 ※カッコ内は前年度数値	進捗状況	目標値 2029(令和11)年度	対応する 基本方針	備考
1	公共交通利用者の割合	55.5%	61.9%※2 (60.8%)		55.5%以上	① ③	地下鉄、JR、路線バス、路面電車、タクシー等の利用者数を人口で除して算出
2	バス路線廃止に伴う公共交通の空白地域※1の新たな発生	—	空白地域の新たな発生なし (空白地域の新たな発生なし)		発生させない	① ②	交通事業者からの提供データ、および代替交通導入状況により確認
3	公共交通に対する満足度	65%	49.1% (52.5%)		65%以上	① ③	指標達成度調査により確認
4	公共交通に対する不満足度	15%	31.0% (28.6%)		15%以下	① ③	指標達成度調査により確認
5	低床車両の割合(路面電車のバリアフリー化率)	33%	42% (39%)		50%	③	札幌市の所有データにより確認
6	ノンステップバスの導入率	46%	54% (51%)		75%	③	路線バス事業者からの提供データにより確認
7	ユニバーサルデザインタクシーの導入率	17%	28.5% (26%)		31%	③	タクシー事業者からの提供データにより確認

※1 公共交通の空白地域:「札幌市乗合バス路線維持対策要綱」における路線維持の必要性を判断する要件に則り、路線の維持が必要と判断されたにもかかわらず、廃止後に代替交通等が導入されなかった地域

※2 暫定値